

◇国際シンポジウム 実績なし

◇国内シンポジウム No.1 ウチナーンチュの移民 軌跡と紐帯

日時	プログラム内容
2023（令和5）年6月18日（日）13:30～17:00（海外移住の日）	<p>主催：名桜大学大学院国際文化研究科（国際文化システム専攻） 共催：名桜大学環太平洋地域文化研究所 名桜大学国際学部国際文化学科 会場：沖縄市民会館中ホール</p> <p><概要></p> <p style="text-align: center;">次第</p> <p style="text-align: right;">全体進行：麻生玲子（名桜大学准教授）</p> <p>13:30-13:40 開会の挨拶 嘉納英明（大学院研究科長）</p> <p>13:40-13:50 趣旨説明 麻生玲子（名桜大学准教授）</p> <p>13:50-14:30 基調提案 戦前のウチナーンチュの移民と日本の敗戦による「引揚げ」 榮野川敦（うるま市文化財課主査／ 前うるま市立中央図書館長）</p> <p><シンポジウム></p> <p style="text-align: right;">ファシリテーター：上原なつき（名桜大学准教授）</p> <p>14:40 -16:00（20分×4人）</p> <p>登壇者① 沖縄県内市町村史における「移民」編の刊行状況 榮野川敦（うるま市文化財課主査）</p> <p>登壇者② ブラジルのウチナーンチュとエスニック・メディア 長尾直洋（名桜大学准教授）</p> <p>登壇者③ 20世紀前半の台湾におけるウチナーンチュと短歌 屋良健一郎（名桜大学上級准教授）</p> <p>登壇者④ やんばる世界を拓くー沖縄北部地域の<人の移動>ー 小川寿美子（名桜大学教授）</p> <p>16:00-16:50 <質疑応答・情報交換></p> <p>16:50-17:00 まとめと閉会挨拶 清水美里（名桜大学准教授）</p>

2022年に開催された第7回世界のウチナーンチュ大会では、新型コロナウイルス感染症の蔓延による一年の延期、各国の混乱や日本への入国制限といった困難を乗り越え、故郷沖縄へ帰郷する世界中のウチナーンチュの思いを改めて確認された。日本国内でも多数の移民先として知られる沖縄は、世界各地の移民先とその子弟との特別な繋がりを有しています。その繋がりは文化的なものに限らず文化的、経済的、人的交流を通して双方を高める可能性を秘めています。

本シンポジウムは、沖縄から国内外への出移民の事情、アジアや南米の移民先によるメディアや文芸の実践、沖縄本島北部地域に焦点を当てた長系移民の足跡をよまえて、故郷沖縄と出移民先との歴史的繋がりを再確認し、今後の更なる紐帯の在り方について考えを分かち合います。

プログラム

全体進行	麻生 玲子（名桜大学准教授）
開会挨拶	13:30-13:40 嘉納 英明（大学院研究科長）
趣旨説明	13:40-13:50 麻生 玲子（名桜大学准教授）
基調提案	13:50-14:30 戦前のウチナーンチュの移民と日本の敗戦による「引揚げ」 榮野川 敦（うるま市文化財課主査／前うるま市立中央図書館長）
シンポジウム	14:40-16:00（20分×4人） ファシリテーター：上原 なつき（名桜大学准教授）
登壇者①	沖縄県内市町村史における「移民」編の刊行状況 榮野川 敦（うるま市文化財課主査）
登壇者②	ブラジルのウチナーンチュとエスニック・メディア 長尾 直洋（名桜大学准教授）
登壇者③	20世紀前半の台湾におけるウチナーンチュと短歌 屋良 健一郎（名桜大学上級准教授）
登壇者④	やんばる世界を拓くー沖縄北部地域の<人の移動>ー 小川 寿美子（名桜大学教授）
質疑応答	16:00-16:50
閉会挨拶	16:50-17:00 清水 美里（名桜大学准教授）

2023.6/18（日）13:30～17:00（海外移住の日）
 沖縄市民会館 中ホール 参加費無料／[地域一般の皆へ] 参加費無料（事前申込み）
 主催：名桜大学大学院国際文化研究科国際文化システム専攻 ■共催：名桜大学環太平洋地域文化研究所 名桜大学国際学部国際文化学科
 協賛：琉球文化財団、名桜大学環太平洋地域文化研究所 〒905-8585 名護市字久武112番地01 TEL: 0980-51-1107

◇国内シンポジウム No.2 保健・医療・介護データを活用した医療費等抑制効果に関する特別講演会

日時	プログラム内容
2023（令和5）年11月2日（木） 13:30～15:00	<p>主催：名城大学 後援：北部市町村会・北部市町村議会議長会 会場：名城大学 多目的ホール</p> <p><概要></p> <p style="text-align: center;">次第</p> <p style="text-align: right;">全体進行：本村純（名城大学上級准教授）</p> <p>13:30-13:35 開会あいさつ（COI事業について） 砂川昌範（名城大学学長）</p> <p>13:35-13:40 来賓あいさつ 喜舎場 健太（沖縄県保健医療部 統括監）</p> <p>13:40-14:05 基調講演 次世代医療基盤法を活用したやんばる版プロジェクト健診データと国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険データとの突合分析の可能性について 正路章子（東京大学大学院 薬学系研究科 医薬政策学）</p> <p>○シンポジウム</p> <p style="text-align: center;">ファシリテーター 花城和彦（名城大学 COI 担当学長補佐）</p> <p>14:15-14:35 意見発表 1人10分 登壇者① 北部地区の医療（疾患者の傾向）について 石川清和（北部地区医師会会長 業務執行理事） 登壇者② 名護市の住民健診結果に基づく保健活動について 當間晶子（名護市健康増進課 地域保健係長）</p> <p>14:35-14:50 クロス討論+会場からの質疑 ※クロス討論には、砂川学長、正路章子氏、五十嵐中氏も参加</p> <p>14:50-15:00 閉会あいさつ（まとめ） 奥本正（名城大学人間健康学部長）</p>

主催：名城大学
後援：北部市町村会・北部市町村議会議長会

保健・医療・介護データを活用した医療費等抑制効果に関する特別講演会

開催日 2023.11/2 木
時間 13:30~15:00 受付 13:10~
会場 名城大学 多目的ホール

対象者 北部13市町村長・議員、保健・医療・介護関係職員及び関係者等、北部地域医療関係者、地域住民

名城大学は2018年11月3日、沖縄県北部（やんばる）の健康長寿世界一賞をのびて、北部12市町村長と「やんばる健康宣言」を行った。今年より実施している「名城大学やんばる版プロジェクト健診」が今年でも早稲を踏える。また、本学では、やんばるにおけるヘルスリテラシー向上に結び付く地域の地域医療連携を推進しており、今後の抱き組みの方向性を検討する段階に差し掛かっている。その一つとして、やんばるの自治体、医療機関そして福祉施設が持つ保健・医療・介護データを統合し、研究成果の還元として、当該機関に保健・医療・介護事業の迅速化・効率化・コスト抑制等に資するデータを提供することを目指している。このことは、「やんばる」の住民一人ひとりの健康の増進や、健康寿命の延伸、QOLの向上につながる実用と考える。

本特別講演会は、上記の先進的科学研究を行っている名城大学大学院薬学系の正路章子先生を、シンポジウムを通して地域医療や保健活動の発展について認識をし、両町村ごとの医療費及び介護給付費抑制のための方向性を検討する機会とした。

名城大学職員（関係者は、自由に参加を承っております）
*オンライン参加の募集も随時随時追加を予定しております。
*名城大学の定員が定まりました。

主催 名城大学
後援 名城大学学長補佐室
（やんばる版プロジェクト推進委員会）
名城大学環太平洋地域文化研究所

お問い合わせ先
名城大学 地域連携課
TEL: 0980-91-1555
〒906-8585 沖縄県名護市学道1-1220-1

